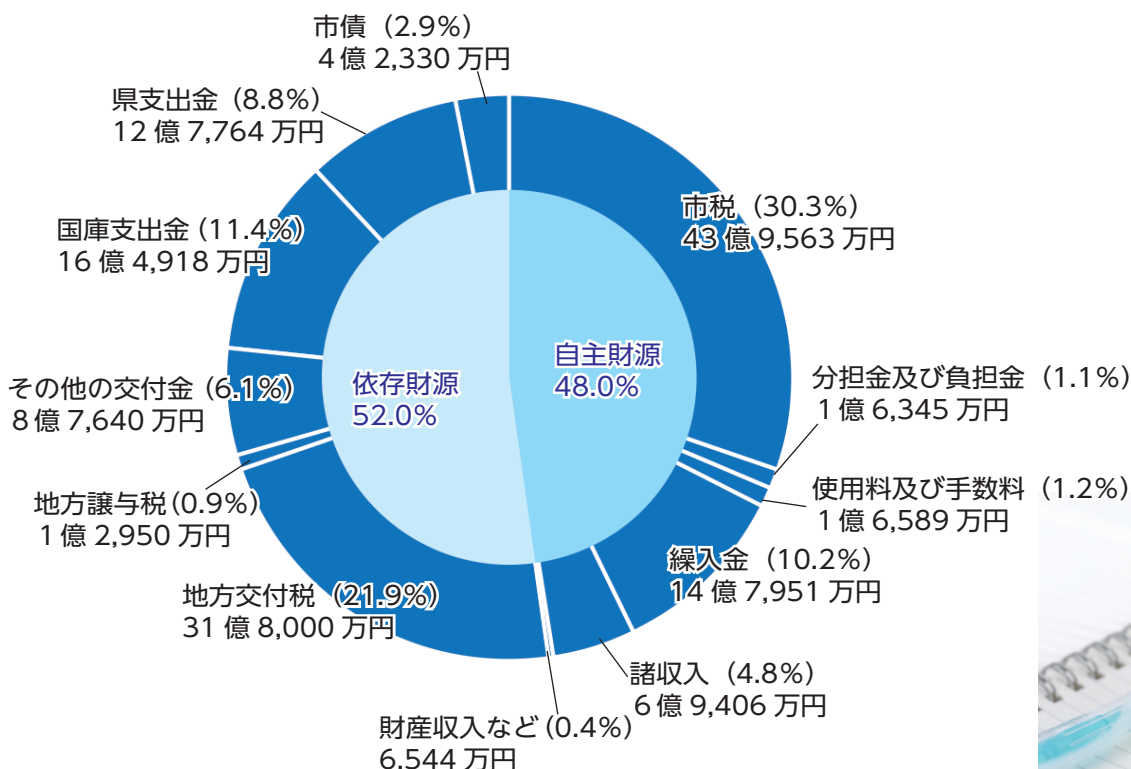


令和5年度 あわら市の 予算

問合せ
財政課 ☎ 73-8008

一般会計歳入



一般会計当初予算規模 145億円

「暮らしやすくして
幸せを実感できるまち」
を目指して

令和5年度一般会計当初予算の総額は、歳入歳出それぞれ145億円で、前年度と比較して14億円、8.8%の減となりました。
この要因として、芦原温泉駅周辺整備事業や道の駅「蓮如の里あわら」整備事業などの減額が挙げられます。

市の貯金

— 財政調整基金

市の貯金である財政調整基金は、令和4年度末で前年と比較して4億8800万円増の37億5400万円となる見込みです。令和5年度当初予算では、財源不足を補填するため、10億円の取り崩しを計上しています。

市の借金

— 市債残高

市の借金である市債の残高は、令和4年度末で約178億5500万円となる見込みです。令和5年度当初予算では、4億2330万円の借り入れを予定しており、令和5年度末の市債の残高は、前年と比較して約11億800万円減の約167億4700万円となる見込みです。

各会計の当初予算額 (合計 218億1,018万円)

一般会計 145億円

市の基本的な行政サービスの経費を収支する会計

特別会計 40億4,160万円

保険料など特定の収入で特定の支出に充てる会計。収入の使い道が決まっているため一般会計とは分けています。

国民健康保険特別会計	28億9,550万円
後期高齢者医療特別会計	4億4,910万円
農業者労働災害共済特別会計	500万円
公共用地先行取得事業特別会計	6億9,200万円

企業会計 30億5,212万円

一般の会社と同じように、独自の収入でその経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計

水道事業会計	10億1,592万円
公共下水道事業会計	20億3,620万円

芦原温泉上水道財産区水道事業会計 2億1,647万円

芦原地区の特定区域（財産区）の水道事業を運営する会計

主な事業の予算額



給食費負担軽減事業
4,701 万円



移住定住促進事業
3,275 万円



名泉郷冠水対策事業
2,640 万円

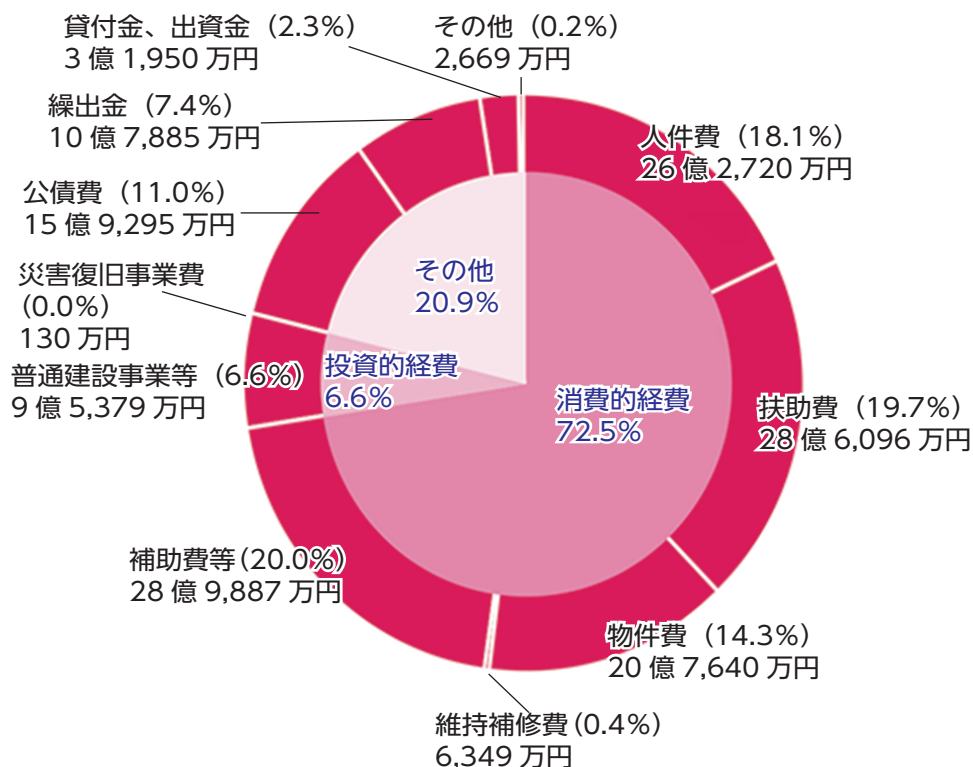


北陸新幹線開業機運醸成事業
2,051 万円



あわらっこ出産・子育て応援事業
808 万円

一般会計歳出（性質別）



家計簿でチェック

令和5年度の当初予算 145 億円を分かりやすく
3,000 分の 1 に置き換えて家計簿にしました。



1 年間の収入合計 約 483 万円

基本給与 (市税)	146 万 5,211 円
諸手当 (分担金及び負担金)	5 万 4,481 円
副業収入 (使用料及び手数料)	5 万 5,296 円
預金の取り崩し (繰入金)	49 万 3,171 円
臨時収入など (寄付金、財産収入など)	25 万 3,166 円
親からの援助 (交付税、国県補助金など)	237 万 908 円
銀行からの借入れ (市債)	14 万 1,100 円

貯金残高(財政調整基金) 91 万 8,000 円

借金残高(市債残高) 558 万 2,168 円

収入をみると、昨年より基本給与は増えているものの、収入の半分近くを親からの仕送りに頼り、銀行からの借入れも毎年行っています。今後は、借入れの依存を少なくし、基本給与や諸手当、副業収入の増に努めていく必要があります。

1 年間の支出合計 約 483 万円

食費 (人件費)	87 万 5,735 円
医療費 (扶助費)	95 万 3,654 円
光熱水費、消耗品費など (物件費)	69 万 2,132 円
子どもへの仕送りなど (補助費等)	96 万 6,289 円
家や車などの修繕費 (維持補修費)	2 万 1,164 円
家などの増改築 (普通建設事業費)	31 万 7,930 円
借金返済 (公債費)	53 万 981 円
貯金 (積立金)	5,566 円
その他 (予備費、貸付金、繰出金など)	46 万 9,882 円

支出では、食費や医療費、借金返済などの節約が難しい経費が半分近くを占めています。

これまで、光熱水費や消耗品費、修繕費などを切り詰めてきましたが、今後も支出を抑えながら家計をやりくりしていく必要があります。